

4 今後の検討課題

以下に掲げる案件については、今回のガイドライン作成過程において議論したが収束できなかった、あるいは取り上げたが十分な検討および議論を行う時間がなかったなどの理由で、次回の改訂の際に再度の検討を要するものと判定された。

- 他の学術団体のガイドラインとの整合性
- 頭頸部癌，食道癌，肝臓癌における検討
- 関連した治療（胸水，腹水などに対する治療）との関連
- 生命予後や performance status などを含む輸液療法の適応となる項目についての詳細な検討
- 倫理的検討をする場合のアルゴリズムやツールの提示
- 悪液質の病態と輸液との関連
- がん終末期における糖，蛋白・アミノ酸，脂肪の代謝動態の変化とそれに対応する輸液療法の詳細な検討
- 在宅経静脈栄養（HPN）についてのさらなる検討
- 皮下輸液の詳細な効果

（東口高志）